【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第５区分
【発行日】令和6年9月19日(2024.9.19)

【国際公開番号】WO2024/090138
【出願番号】特願2024-503830(P2024-503830)
【国際特許分類】
Ｄ０６Ｍ 13/02(2006.01)
Ｄ０６Ｍ 15/647(2006.01)
【ＦＩ】
Ｄ０６Ｍ 13/02
Ｄ０６Ｍ 15/647

【手続補正書】
【提出日】令和6年1月22日(2024.1.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
鉱物油（Ａ）を含有する弾性繊維用処理剤であって、前記鉱物油（Ａ）のアニリン点が１１０℃超～１７０℃であり、シリコーン成分（Ｂ）の含有量が０重量％～５０重量％未満である、弾性繊維用処理剤。
【請求項２】
前記鉱物油（Ａ）の含有量が５５重量％以上であり、前記シリコーン成分（Ｂ）の含有量が０重量％～４５重量％である、請求項１に記載の弾性繊維用処理剤。
【請求項３】
前記シリコーン成分（Ｂ）の含有量が０重量％～４０重量％である、請求項１又は２に記載の弾性繊維用処理剤。
【請求項４】
前記シリコーン成分（Ｂ）の含有量が１重量％以上であり、前記鉱物油（Ａ）１００重量部に対する前記シリコーン成分（Ｂ）の重量割合が５重量部～８０重量部である、請求項１又は２に記載の弾性繊維用処理剤。
【請求項５】
前記鉱物油（Ａ）のアニリン点が１１８℃以上である、請求項１又は２に記載の弾性繊維用処理剤。
【請求項６】
前記鉱物油（Ａ）に占めるナフテン成分１００重量部に対する、パラフィン成分の比率が、５０重量部～１００００重量部である、請求項１又は２に記載の弾性繊維用処理剤。
【請求項７】
請求項１又は２に記載の弾性繊維用処理剤を弾性繊維本体に対して付与してなる、弾性繊維。
【請求項８】
請求項１又は２に記載の弾性繊維用処理剤を弾性繊維本体に対して付与する工程を含む、弾性繊維の製造方法。